



「ふれあい」は  
ホームページ  
でもご覧いた  
だけます



## ■■■ 3月 イベントカレンダー ■■■

1日 目 親子クッキング教室（大代地区公民館 社会教育事業）

15日 目 おうちでバレトン・ポルドブラ（公民館 社会教育事業）21日に2回目

20日 金 ケアブレンドカフェ（大代地区公民館 社会教育事業）

26日 木 レクリエーションスポーツ&ふれあい食堂（コミュニティ事業）

## なつかしい昭和 ふり返り上映会

### 第61回 大代福幸 part2

大代の各町内会には、地域の方々が集まる場「サロン」があります。

「大代福幸」もその一つで、震災後、被災者支援として、地域コミュニティ再生を目指して、社会福祉協議会によって始められた事業です。2017年度に終了しましたが、継続してほしいという声がとても多かったので、2018年度から、ボランティアの方々により、part2がスタートし、今回で61回目になりました。

61回目は2月18日(水)10時から、NPO法人20世紀アーカイブ仙台（主催者：坂本英紀さん）による「なつかしい昭和 ふりかえり上映会」を開催しました。今年度、3回の「昔を語る会」を開催し、今回は4回目、最後となるふり返り上映会でした。

参加者は21人。「浮島地区の田植え」「浮島地区の運動会」「東小学校の運動会」「仙台駅前の丹六」「五千元つかみ取り」等、なつかしい昭和の映像を見ながら、近くの方との話に花が咲きました。「昔は、女の人達、運動会にも前掛けしてきたね」「大代でも、手で田植えしたんだ」「東小の運動会、東豊中の校庭でやってる！」などと、おしゃべりしながら、映像を見ることができ、脳の活性化にもなったようです。あっという間の60分でした。

次回は、3月18日(水)10時～、場所は、大代老人憩いの家です。



主催者坂本英紀さんに感謝の拍手！

### リレー投稿 ぶらり町内

大代五区をぶらり歩いて出会うものを紹介するリレー投稿は、11回目、最終回となりました。大代西区の『かづどやま』についての投稿です。

### 地図にもない山『かづどやま』

小野 雄一

山の名は、長年昔から大代に住んでいる人は分かりますが、今は知る人も少ないと思います。

山自体、固い岩盤できており、戦時中に作ったと思われる防空壕の穴もあり、周りは雑木、竹藪などが生い茂っていますが、山の上では近所の農家さんが畑を作っています。

場所は大代西区の入口で、自衛隊前を通る産業道路と民家数軒を挟んで見える小高い所が『かづどやま』です。近くに、多賀城みずむすび公園の管理事務所があります。

なお、『かづどやま』は個人所有ですので、残念ながら、足を踏み入れることはできません。

公園に立ち寄ったときに、『かづどやま』を、遠くから眺めてください。



### 新入学児童への学用品を プレゼントしました

2月6日（金）に、東小学校で大代地区在住の新入学児童への学用品をプレゼントさせていただきました。

ご入学される皆様、おめでとうございます。



色鉛筆、セロテープ、クレパスを  
プレゼントしました

### レクリエーションスポーツ &ふれあい食堂開催のお知らせ

大代地区コミュニティ推進協議会では、3月26日（木）に、レクリエーションスポーツ&ふれあい食堂を開催致します。内容はニュースポーツの体験と、終了後には豚汁とおにぎりを喫食します。詳しくは、このふれあい4ページをご覧ください。

### 大代地区公民館駐車場に E V充電設備が設置されました

大代地区公民館にE V電気自動車を充電する設備が設置されました。公民館の開館時間の間であれば、充電が可能となります。

利用する場合は、二次元コードを読み取るスマートフォンなどが必要となります。利用方法や料金などについては、株式会社テラチャージ様のホームページをご覧ください。

### 【特集】 3.11 を語り継ぐ

「たがじょう見聞憶」から学ぶ

東日本大震災から15年。街の景色はすっかり新しくなりました。しかし、あの日私たちが経験した「想定外」の出来事は、決して色あせさせてはならない教訓です。

多賀城市の震災アーカイブ「たがじょう見聞憶 一人一話」に寄せられた市民の切実な声から、私たちが今、改めて見つめ直すべき「備え」を考えます。



「一人一話」

#### ■1 「渋滞」という落とし穴

震災当日、多くの人が車で避難を試みました。しかし、それが命の危険を招く一因となった現実があります。

「一人一話」から

「国道45号線はすでに大渋滞で、車は全く動きません。そこに津波が来ました。車を捨てて近くのビルに逃げ込むしかありませんでした。あの時、もし車に執着していたらと思うと、今でも震えます。」

【教訓】

避難は原則として「徒歩」です。車は渋滞に巻き込まれ、逃げ場を失うリスクがあります。どうしても車が必要な場合を除き、自分の足で高い場所を目指すルートを、日頃から確認しておきましょう。

#### ■2 「まさかここまで」を捨てる

「うちは大丈夫だろう」という根拠のない自信が、避難を遅らせる最大の原因（正常性バイアス）になります。

「一人一話」から

「過去のチリ地震津波の記憶から、『あそこまでは来ない』と思い込んでいました。しかし、水は想像を超える速さで足元まで迫ってきました。判断の1分、2分の遅れが、生死を分けるのだと痛感しました。」

【教訓】

ハザードマップはあくまで予測です。「マップで安全だから」ではなく、「揺れたら逃げる」。過去の経験に縛られず、常に最悪の事態を想定して行動することが、あなたと大切な人の命を守ります。

#### ■3 つなごう、地域の絆

災害時、最後に頼りになるのは隣近所の助け合いです。

「一人一話」から

「避難所で一番心強かったのは、普段から挨拶を交わしていた近所の人たちの顔を見た時でした。声を掛け合い、食べ物を分け合ったあの時間は、何よりの支えになりました。」

【教訓】

近所の人たち、地域の人たちとの普段からの関わりが、災害の時に力を発揮し、命を守ることに繋がります。

今回は3つの教訓を取り上げましたが、「たがじょう見聞憶」には、ここには書ききれない数多くの「一人一話」が収められています。例えば、次のような内容も語られています。

- 家族で話す：避難場所はどこか？連絡手段はどうするか？
- 備蓄を見直す：水、食料、そして簡易トイレの準備は万全か？
- アーカイブを訪ねる：先人の経験を「知識」として取り入れる。

震災の教訓を語り継ぐことは、未来の命を守ることに直結します。あの日を忘れず、今日からできる一歩を踏み出しましょう。

「たがじょう見聞憶」では、大震災の記録が公開されており、一人ひとりの体験談「一人一話」を読むことができます。ぜひ一度、その声に耳を傾けてみてください。

～みんなでニュースポーツを楽しもう!～

# レクリエーション ふれあい スポーツ & 食堂



【開催日時】令和8年3月26日(木)9:30～11:30

【開催場所】大代地区公民館 体育室

【講師】多賀城市レクリエーション協会

【参加費】無料

【持ち物】動きやすい服装・上靴  
水分補給用の飲料水

同日  
開催

## ふれあい食堂のお知らせ

ふれあい食堂は地域の人と楽しく食事をする場を提供することを目的とし、大代地区コミュニティ推進協議会が中心となって運営する食堂です。今回、レクリエーションスポーツ終了後にふれあい食堂にておにぎりと豚汁のセットを限定100食販売することになりました。子どもからシニア層まで、どなたでも大歓迎です。ぜひご利用ください(^^) /



おにぎり2個 & 豚汁のセット ▶ **¥100** (税込み)

【販売時間】 11:30～なくなりしだい終了

【販売場所】 大代地区公民館2階会議室

【主催】大代地区コミュニティ推進協議会

広報部では、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。  
この2次元コードを読み取り、送信することができます。



次号投稿締切

3月15日(日)

発行：大代地区コミュニティ推進協議会 広報部

事務局：大代地区公民館

TEL：022-364-8442 FAX：022-364-8453